

会 員 各 位

日 本 ば ね 学 会  
会 長 早 川 正 夫

### 「復元力応用分科会」第 33 回講演会開催のご案内

「復元力応用分科会」では、広い意味でのばねの役割の知見を深めることを目的として、復元力の応用分野の講演会を企画しております。新型コロナウイルス感染症の影響で第 29 回からオンラインで開催しておりますが、今回も下記のとおりオンラインで開催することになりました。移動時間がかからず会員どなたでも無料でご参加することができますので是非ご検討下さい。参加申込をお待ちしています。

#### 記

1. 開催日時 2022 年 10 月 27 日 (木) 14 : 30 ~ 15 : 40

2. 開催場所 Web 会議システム (Zoom)

3. スケジュール

14:30~14:35 開会挨拶 復元力応用分科会 主査 小竹 茂夫

14:35~15:35 均一なゲルを用いたゲル弾性と弾性限界についての実験的研究

東京大学大学院 教授 酒井 崇匡 先生

ハイドロゲルは、多量の水で膨潤した高分子ネットワークであり、バイオマテリアルとして有望視されている。発表では、ハイドロゲルの弾性や、弾性限界についての最新の研究成果について報告する。

15:35~15:40 閉会挨拶 復元力応用分科会 幹事 村上 譲司

4. 参加費 ばね学会会員 無料 (会員以外は 5,000 円)

※法人会員に所属する社員の方は会員扱いになります。

5. 申込方法・参加方法

当学会ホームページ (<http://www.jsse-web.jp/>) の第 33 回復元力応用分科会講演会の申込フォームから必要事項を記入の上、10 月 14 日までにお申込ください。申込された方に、講演を聴講する URL を送付いたします。

#### 【参加いただくために同意いただく事項 (重要)】

無断での発表画面の録画・撮影は固く禁止します。参加するにあたり、URL 等の参加者限定情報を第三者に伝えないこと、発表画面

を録画・撮影しないことに同意いただきます。



日本ばね学会 HP

# 「復元力応用分科会」第33回講演会の見どころ紹介

復元力応用分科会 運営委員一同

## 「均一なゲルを用いたゲル弾性と弾性限界についての実験的研究」

東京大学大学院 酒井 崇匡 殿

### 【略歴】

2007年3月 東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻  
博士課程修了 博士（工学）

2019年1月 ジェリクル株式会社 取締役 最高技術責任者

2020年2月 東京大学大学院工学系研究科  
バイオエンジニアリング専攻 教授

### 【見どころ】

ゲルはゼリーなどの食品やコンタクトレンズなどの医用材料に用いられているウェットで柔らかい材料です。また、長いひも状の高分子鎖の間に橋を架ける架橋反応で作成される三次元の網目状高分子が水を保持した物質です。

今回は、酒井氏が独自に作製された「理論限界値まで伸びるゲルの開発」を中心に講演をお願いしました。3分岐構造の「引き算構造設計」による極限弾性ひずみの実現が大きな見どころです。

私たちの生活に必要な身近なものに広く用いられているゲルの弾性要素に関する内容は、設計・開発技術者に参考になると考えております。皆様のご参加をお待ちしております。